

授 業 目 名	形成外科学	授 業 形 態	講 義
		配 当 学 期	2年（後期）
担 当 教 員 名	仲山 晃生	単 位 数	1単位
		時 間 数	15時間
授業概要 学習目標	<p>〔授業概要・学習目標〕 形成外科に関する知識を学び、言語聴覚士と必要な形成外科領域に関する疾患について理解し、治療法を理解する。</p> <p>〔学習目標〕 言語聴覚療法にかかわる知識について特に深く学び、形成外科的知識を踏まえて実践できるようになる。</p>		
授業回数	授業内容		
第 1 回	形成外科総論 創傷の種類と治癒形態について、及び日本皮膚科学会の総省一般ガイドラインについて		
第 2 回	組織移植 皮膚移植術の種類と方法。皮弁の種類と方法。それぞれの生着機序について。		
第 3 回	顔面外傷 顔面は露出部であるため、手部と並んで外傷を受ける頻度が高い部位である。機能面のみならず外観も重要で、変形や醜状瘢痕は患者に精神的負担を与える。機能障害を残さず、外観にも配慮した治療が求められる。		
第 4 回	熱傷、電撃傷、化学熱傷、凍傷 それぞれの重症度に応じた形成外科的対応について。		
第 5 回	褥瘡 高齢者施設や入院患者に多くみられる褥瘡について、発症メカニズムおよび治療法について。		
第 6 回	頭蓋、顔面、耳介の形成異常 先天的な形成異常に対して、機能面外観面を踏まえた形成外科的治療について。		
第 7 回	頭頸部手術に伴う障害 舌癌術後の再建では、欠損の量に応じて機能面を考慮し用いられる皮弁も違ってくる。主に用いる皮弁の特徴について。		
第 8 回	瘢痕とケロイド それぞれの違いについて学ぶとともに、用いられる形成外科的手技について。		
評価方法	定期試験(100%)		
教科書 参考図書	〔参考図書〕 標準形成外科学 第7版（標準医学シリーズ）単行本-2019/1月 平林慎一（著）、岡崎睦（著）		
履修上の 留意点	なし		
メッセージ	なし		